

第1回ふるさとリーダー会議



平成16年8月27日 於:かがわ国際会議場

平成16年8月25～27日、県内から70名の中学生が集まり、「第1回 ふるさとリーダー養成事業」が開かれました。これは、香川県教育委員会が開催した事業で、各中学校において、生徒会を中心に、ふるさとのよさを見直す活動などをリードする、「ふるさとリーダー」を養成するために実施しました。

2泊3日の日程で、直島のエコタウン施設、引田の町並み、金丸座などで体験学習や専門家の方との交流を行い、香川県のよさを再発見するとともに、その課題・解決策などについて相互に意見交換を行う、「ふるさとリーダー会議」を開催しました。



【参加理由】

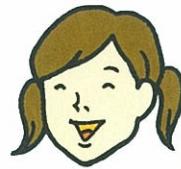
香川県には屋島や四国霊場八十八カ所、讃岐うどんなどの観光地や名物がたくさんあると思います。しかしそれが十分活かされているとは思えません。私は、将来郷土香川のために何か役に立つ仕事をしたいと思います。そこで、この事業に参加して、ふるさどがにぎわうにはどうすれば良いか、そのヒントを探りたいです。



歴史と文化のまち長尾



長尾には、四国霊場八十八カ所のうち2つの寺があります。87番長尾寺と88番大窪寺です。そのため、いつも道路で誰か歩く人を見ることが出来ます。長尾から大窪寺へ行く途中、有名な大窪の水（わさじ）があります。豊後公園や地蔵の化石でも有名です。



【研修を終えて】

ふるさと再発見ツアーでは、香川のお宝をたくさん見つけることができました。

初対面の友達に最初接する時は気まずかったが、1日目の夜になれば、すっかり打ちとけて気軽に話せる友達が何人もできました。

学校が違う友達の意見を聞いたりして、とてもためになりました。たまには、こんな機会があると刺激を受けます。

時間	内容					
8月25日(水)	10:00	集合【香川県歴史博物館】				
	10:30~10:45	開講式				
	10:45~11:15	グループ編成 オリエンテーション				
	11:30~12:00	研修(特)「香川の魅力 わがまちの自慢」 <昼食>				
12:45~15:30	研修(監)「香川の歴史を学ぶ」 <移動:JR> 【香川県青年センター】 <夕食>					
18:30~21:00	グループ別討議					
21:22:30	入浴、就寝準備					
8月26日(木)	研修(企)「ふるさと再発見ツアー」					
	エコタウンコース	水と環境コース	観光地づくりコース(東)	観光地づくりコース(西)	癒しと安心・安全コース	
	<JR・船>	<移動:バス>	<移動:バス>	<移動:バス>	<移動:バス>	
	〔午前〕 ・直島環境センター ・エコタウン施設	〔午前〕 ・香川大学浅海域環境実験実習施設(庵治) ・海洋調査実習船で瀬戸内海航行	〔午前〕 ・三谷製糖(和三盆) ・風の港(引田) ・安戸池	〔午前〕 ・宇多津町産業資料館 ・猪熊弦一郎現代美術館	〔午前〕 ・稀少糖(FORM香川) ・おへんろ交流サロン(お接待)	
	〔午後〕 ・ベネッセ地中美術館 ・植林地	〔午後〕 ・春日川の干潟 ・栗林公園	〔午後〕 ・イサム・ノグチ庭園美術館 ・映画ロケ地(庵治町)	〔午後〕 ・旧金毘羅街道 ・金丸座 ・金毘羅宮	〔午後〕 ・大窪寺 ・瀬戸大橋 ・犯罪防止に配慮した公園(坂出市)	
<船・JR>	【香川県青年センター】 <夕食> グループ別討議 入浴、就寝準備					
8月27日(金)	<移動:JR>					
	【香川国際会議場】準備・リハーサル					
	<昼食>					
	10:30~11:45	「ふるさとリーダー会議」開講式				
13:00~15:00	解散					

ふるさとリーダー研修 ふるさと再発見ツアー 8月26日



今！瀬戸内海的环境は？ リサイクルの課題は？ お接待の心を味わいました。体験型観光を！

古い町並みの活用を！

ふるさとリーダー会議 8月27日
ふるさとリーダー研修で得たことを，相互に報告・提案・協議

時間	内 容
13:00	開会のことば
13:10	提案1「地球にやさしい環境立県をめざそう」 ①エコタウンコース ②水と環境コース
13:55	提案2「魅力ある観光地づくりを進めよう」 ①西讃コース ②東讃コース
14:35	提案3「安心して暮らせるまちをつくらう」
15:00	閉会のことば

ふるさとリーダー会議「地球にやさしい環境立県をめざそう」エコタウンコース

私たちの提言

- 1 リサイクルに積極的に取り組む。
- 2 いつまでも操あふれる県にするため、県民全体で努力していく。
- 3 県や各市町村も一般廃棄物や産業廃棄物の不法投棄をしないように厳しく呼びかける。



エコタウンコース



私たちの提言

- ・歴史なものと、新しいテーマパーク的なものとの共存
- ・体験型の観光資源の開発
- ・マネリ化をふせぐための工夫をする

我々にできること

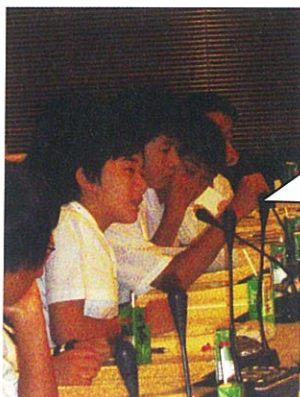
- ・観光地にゴミを捨てない。(拾う)
- ・自分の知っている観光地を他の人にどんどん紹介する。

私たちにもできる水環境を守るための10か条

- ① 水の無駄づかいをしないようにしましょう
- ② リサイクル製品を使うよう心掛けよう
- ③ 洗濯洗剤などを環境に優しいものにしよう
- ④ 生ごみを流したり、作ったりしないようにしましょう
- ⑤ 風呂の残り湯を洗濯などに使い節水しよう
- ⑥ 川掃除などのボランティアがあれば積極的に参加しよう
- ⑦ 干潟の生物観察をやってみよう
- ⑧ 人工的に作られた環境にも価値があることを知ろう
- ⑨ ペットボトルのお茶に頼らず家のお茶にするように心掛けよう
- ⑩ 水は当たり前のようにあるものではなく、かけがいのない大切な資源であるということを自覚しよう



「若い人からお年寄りまで楽しめ、人と人がふれあうふるさとをつくらう」昔からの景色や建物と新しいものを組み合わせた観光地づくり



もてなしの心で つなぐ「人」と「人」
安心・安全の発信源は あなたの“心”

